

今が分かる

新聞

vol. 32

2015年6月19日

発行：福島県庁 避難者支援課 ☎024-523-4157

※この広報紙は「クウェート救援金」を財源の一部として発行しています。

福島県が発行する「ふくしまの今が分かる新聞」では、県内に居住している皆さま、福島県内外に避難されている皆さま、そして被災者・避難者支援に携わる多くの皆さまへ、避難者支援の状況や福島の復興への動きなど「ふくしまの今」が分かる情報をお届けします。

浜地域農業再生研究センターの建設に着工しました

浜通り
農業再生に向けて



センターでの研究内容

- 放射性物質の動態調査や吸収抑制対策に関する研究
- 除染後農地の地力回復対策の研究
- 施設園芸作物の周年栽培体系の研究
- 情報通信技術等を活用した省力化技術の研究

原子力災害により大きな被害を受けた避難地域等の営農再開・農業再生を図るため、福島県が南相馬市原町区萱浜地区に整備する研究拠点「浜地域農業再生研究センター」の建設工事安全祈願祭及び起工式が、内堀県知事が出席して5月15日に開催されました。

平成27年度中の運用開始に向け、建設工事を進めてまいります。

避難地域等の現状

- 担い手の他地域への流出
- 農作物の作付・出荷制限
- 雑草の繁茂
- 野生鳥獣の農地等への侵入



浜地域農業再生研究センター

完成予想図



営農上の課題を農業者のほ場において研究の視点から解決

営農再開・農業再生

- 農業者が安全な農産物を収益性を損なうことなく安心して生産
- 農業者が将来に夢と希望を持って農業に従事



連携

国立研究開発法人 農研機構

普及機関

環境創造センター

問 福島県庁 農林地再生対策室 ☎024-521-7344

ふくしまの四季

～伊佐須美神社のあやめ(会津美里町)～

初夏

交通

常磐自動車道のインターチェンジ(IC)の新設について

大熊町内、双葉町内それぞれに、常磐自動車道の通常型ICを設置することを、国土交通大臣が4月24日の記者会見で表明しました。



また、常磐自動車道に「ならはスマートIC(仮称)(楡葉町)、磐城自動車道に「田村中央スマートIC(仮称)(田村市)」を新設し、こちらはいずれも平成30年度中の供用開始を目指すことが、昨年発表されています。

これらのICの新設により、福島県内の復興の加速が期待されます。

除染

市町村の除染状況が目で分かります!

福島県では、市町村除染の実施状況を分かりやすく地図やグラフにし、WEBサイトで公開しています。

詳細は除染対策課WEBサイトをご覧ください。



福島市の除染実施状況

住宅除染進捗図
(平成27年3月末時点)



実施状況図の例はこちら

問 福島県庁 除染対策課 ☎024-521-8315

ふくしまの再生に向けて



ふくさと元気人 No.01

復興に向けて頑張る
南相馬鹿島SA「セデッてかしま」
わたなべ ひろゆき
店長 渡部 裕幸さん(南相馬市)
南相馬市鹿島区在住。「セデッてかしま」の管理委託会社が店長を募集した際、地域に貢献したいという強い思いから応募。20年間小売業に従事した経験を生かし、現在「地域のコミュニティの再生」を目指して奮闘している。



この地区の安全性を発信しながら、地域の人々が戻る場所づくりを進めています!

南相馬の復興の拠点として

旧鹿島町(現・南相馬市)は20年前からSAの誘致を希望していました。その願いが形になったのが「セデッてかしま」です。高速道路はもちろ一般道からも利用でき、県外の人と地元の人とが触れ合える貴重な場所として期待されています。

オープン後は、予想を大きく上回るお客様にご来店いただきました。ゴールデンウィークには毎日1万人以上の方が利用。対応が追いつかないほどの盛況ぶりでした。生産者も、お客様と直接つながる場所ができたことで、意欲を持てるようになったようです。

「セデッてかしま」MAP

「セデッてかしま」内休憩スペース

「セデッてかしま」MAP

「セデッてかしま」内休憩スペース

再生するふるさとの現在の姿

ふるさとの今

常磐自動車道SAに隣接して「セデッてかしま」がオープンしました。

4月25日、常磐自動車道・南相馬鹿島サービスエリア(SA)の隣接地に「セデッてかしま」がオープンしました。「せでって」とは、相馬地方の方言で「連れてって」の意味です。相馬地方の物産・観光及び伝統文化など多様な地域情報の発信と、地域産業の振興、地域活性化及び交流機会の創出につながる施設です。

一般道路からも利用でき、相馬野馬追や観光情報などの紹介コーナー、地域の食材を生かしたお食事処、地域の農産物や地域ならではの逸品・珍品を取り揃えたお土産処、地域行事やイベントの会場及び休憩スペースとして利用できる「コミュニティ広場」を備えています。

ぜひ、ご家族やお友達をお誘いのうえ、ご利用ください。

問 セデッてかしま ☎0244-26-4822



お土産処 店内

子どもたちのびのび活動できる環境づくり



子どもたちの豊かな人間性や生きる力の育成を図るため、自然体験活動や交流活動などを実施するスポーツ少年団や子ども会、家族グループなどの団体に、宿泊費(1人当たり1泊5千円上限)と交通費・体験活動費(1人当たり1回2千円上限)を夏期間または冬期間のどちらか1団体1回まで補助します。



夏期間 7月～8月
受付は6月1日～8月17日

対象 県内在住または東日本大震災の影響により避難中の1歳以上の幼児、小学生、中学生及び引率者、保護者等

条件 ◎補助対象の子どもの数が5人以上いること ◎体験活動実施場所・宿泊場所が福島県内であること

申込 登録旅行者 社会教育課WEBサイトに閲覧掲載に実施の20日前までに申し込んでください。

ふくしまっ子体験活動 問 福島県教育庁 社会教育課 ☎024-522-3090

体験活動 やまがた・ふくしま少年少女交流事業 福島県内の児童・生徒が、山形県内の児童・生徒との交流を通じて互いの友情を育みながら、山形県の四季折々の自然の中でのびのびと過ごし、心身のリフレッシュを図ることができる交流事業を行います。



日程 7月3日(金)～5日(日) 山形県金峰少年自然の家・飛鳥 8月28日(金)～30日(日) 山形県神室少年自然の家

対象 福島県内在住の小学生(4年生以上)・中学生 ※10月1日にも開催します。

費用 食事代実費のみ(3千円程度) ※福島県前までバス送迎があります。

申込 各開催日の約6週間前に山形県及び各少年自然の家のWEBサイトに掲載される募集要項をご覧ください。

問 山形県教育庁 文化財・生涯学習課 生涯学習振興室 ☎023-630-2872

原子力損害賠償 賠償項目のご案内



このたびは東京電力が請求手続きを開始しました。「家財の賠償個別賠償(平成27年2月25日プレスリリース)」及び「墓石等の移転に係る賠償(平成27年4月28日プレスリリース)」の概要についてお知らせします。

1 家財の賠償(個別賠償)

世帯人数等に応じて設定された家財の定型賠償(平成25年3月29日プレスリリース)について合意された方で、避難指示区域内にある家財に生じた損害を個別に積み上げた合計金額が定型賠償金額を超える方に対し、超過した金額を賠償。

定額賠償と個別賠償の位置づけ

個別の家財に生じた損害を積み上げた合計金額が定額賠償額を超えない場合は、個別賠償の対象外となります。

個別賠償(今回ご案内)
個別賠償の対象範囲(一般家財)
定額賠償
定額 245万円~

高額家財
一般家財

参考 家財の定型による賠償金額

一般家財の賠償金額	区域	世帯構成		2人以上の場合(世帯基礎額+構成員の加算額)	
		単身の場合(定額)	世帯基礎額	構成員の加算額	子ども1名あたり
245万円	帰還困難区域	325万円	475万円	60万円	40万円
	居住制限区域	245万円	355万円	45万円	30万円
	避難指示解除準備区域	245万円	355万円	45万円	30万円

高額家財の賠償金額	区域		1世帯あたりの賠償金額
	帰還困難区域	居住制限区域	20万円
	避難指示解除準備区域		

2 墓石等の移転に係る賠償(※1)

事故発生時点において、避難指示区域内に存在していた墓石等を所有している祭祀の主事者(※2)である個人の方で、実際に墓石等の移転費用を負担された場合に、移転に要した費用として、1つの墓地区画当たり150万円(税込)を上限に賠償。

- ※1 墓石等の修理に係る賠償については、平成26年7月23日に東京電力からプレスリリース済み。
- ※2 祭祀の主事者とは、墓、祭壇、位牌など民法上の「祭祀財産」を承継される方。

賠償金額の算定方法等について詳しく確認したい方、請求書の発送を希望する方は左記「東京電力株式会社」にご相談専用ダイヤルにお問い合わせください。

東京電力株式会社 福島原子力補償相談室(建物・家財) にご相談専用ダイヤル ☎0120-9266-596(毎日9時~21時)

福島県(原子力損害の賠償等に関する問い合わせ窓口) ☎024-523-1501(平日8時30分~17時15分)

住まいの復興給付金

東日本大震災で被災した住宅の被災時の所有者が、消費税率8%時に住宅を新築・購入、または補修し、その後居住する場合に、最大約90万円(新築・購入時)の給付を受けることができます。対象は平成31年6月までに引き渡された住宅で、申請期間は引き渡しから1年です。

対象となる被災住宅(東日本大震災により被害が生じた住宅)

- り災証明書で「全壊または流出」「大規模半壊」「半壊または床上浸水」「一部損壊または床上浸水※1」の認定を受けた住宅
- 原子力災害による避難指示区域※2等内にある住宅

※1 建築・購入の場合は被災住宅を取り壊していることが必要。
※2 避難指示区域、避難解除区域、特定避難勧奨地点(解除された地点を含む)のことをいう。

住まいの復興給付金申請相談会を、県内各地で実施しています。詳細は、下記のコールセンターか復興給付金のWEBサイトにてご確認ください。

復興給付金

住まいの復興給付金事務局コールセンター ☎0120-250-460(受付時間:9時~17時/土日祝日含む)

福島県内での就職をお考えの方へ



福島県では、福島県内に就職を考えている方に対して、東京都と県内6カ所に就職相談窓口を設置しています。各窓口には専門の相談員を配置し、就職相談や職業紹介、県内企業の情報提供などを行っているほか、県内外での巡回相談、就職後の悩みごとの相談などを実施しています。

平成28年3月卒業予定の大学生の皆さんの就職活動は、今年の3月から解禁されておりますので、首都圏等にいらっしゃるお子さんの就職活動やUターン就職などにもぜひご利用ください。*ご利用は無料です。事前に電話でのご予約をおすすめします。

施設名(窓口)	開館日時	場所	電話番号	
ふるさと福島就職情報センター(窓口相談)	福島	午前10時~午後7時	福島市三河南町1-20 コラッセふくしま2階	024-525-0047
	東京	午前10時~午後6時	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館5階	03-3214-9009
ふくしま就職応援センター(窓口・巡回相談)	郡山	午前10時~午後7時	郡山市駅前1-14-21 郡山花椿ビル8階	024-925-0811
	白河	午前10時~午後7時	白河市郭内1 NTT白河ビル1階	0248-27-0041
	会津若松	午前9時~午後6時	会津若松市南千石町6-5 会津若松商工会議所会館2階	0242-27-8258
	南相馬	午前9時~午後6時	南相馬市原町区南町1-1 松本ビル2階	0244-23-1239
	いわき	午前10時~午後7時	いわき市平字梅本15 いわき合同庁舎西分庁舎1階	0246-25-7131

*閉館日:「東京窓口」は、月曜日、祝日、8月13日~16日、12月26日~1月3日。「それ以外の窓口」は、日曜日、祝日、12月29日~1月3日。

Fターン

福島県庁 雇用労政課 ☎024-521-7290

県外から相双地域等に 介護職員として就職する方の支援について

福島県外に避難されている方で、福島県内に戻り相双地域等(※)の介護保険施設等に介護職員として就職が内定している方に対して、資格取得費用や就職準備金を貸与します。

介護保険施設等が、他の市町村で事業継続している場合も貸付対象となります。

※相双地域等:相馬市・南相馬市・広野町・楡葉町・富岡町・川内村・大熊町・双葉町・浪江町・葛尾村・新地町・飯館村・いわき市・田村市

貸付金額	1	資格取得費用(介護職員初任者研修等)	15万円以内
	2	就職準備金(住宅資金等)	30万円

*無利子、返還免除有り。*詳細は、福島県社会福祉協議会のWEBサイトにてご確認ください。

福島県社会福祉協議会

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会 人材研修課 ☎024-526-0045

住宅の二重ローン 返済の支援について

東日本大震災により半壊以上の被害を受けた住宅に、ローンが500万円以上残っていた方が、福島県内で住宅を購入・建設、または建物の修繕のために新たに資金を500万円以上借り入れた(または借り増した)場合、既存の住宅ローン5年分の利子相当額(最大140万円)を一括補助します。

*平成27年5月末時点で、190件(約176万円)ご活用いただいております。

申し込み手続き 新たな住宅資金を借り入れた金融機関を通じて申し込みできます。住宅ローンを取り扱う金融機関や手続きの詳細は、下記WEBサイトをご覧ください。

福島県二重ローン

被災者向け住宅相談窓口 ☎024-521-7698
福島県庁 建築指導課分室 ☎024-521-5764

中間貯蔵施設への搬入が始まりました

除染に伴って発生した除去土壌等を中間貯蔵施設に搬入する本格輸送に向けて、3月13日から、「パイロット(試験)輸送」が始まりました。

パイロット輸送は、大量の除去土壌等を輸送する本格輸送に先立ち、安全・確実かつ効率的な輸送を確保するため、搬出~輸送~荷下ろしの各工程等を確認・検証することを目的に、おおむね1年間実施されるものです。

今回のパイロット輸送では、43市町村から1,000m³程度ずつを搬出する予定となっており、双葉郡8町村及び田村市から先行して搬出しているところです。

今後、各市町村の運行計画等が策定され次第、県のWEBサイト等でも順次お知らせしてまいります。

県では、引き続き安全・安心を確保するため、国、県、大熊町・双葉町と結んだ安全協定に基づき、輸送を始め中間貯蔵施設の立入調査等を行ってまいります。結果等につきましては、随時WEBサイト等でお知らせします。

なお、中間貯蔵施設等に関するお問い合わせは、環境省に設置されている窓口で受け付けています。

中間貯蔵施設に関する問い合わせ窓口 ☎0120-027-582(9時30分~18時15分 土日祝日除く)

輸送の総合窓口(中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送に関する問い合わせなど)
福島環境再生事務所 中間貯蔵施設浜通り事務所 輸送の総合窓口
福島県いわき市平小太郎町2-6 いわきフコク生命ビル2階 ☎0120-10-1951(8時30分~17時15分 土日祝日除く)

読者アンケート

ご意見をお寄せください!

アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で10名様に、プレゼントが当たります!

福島を代表する銘菓を詰め合わせました。



10名様 銘菓セット

離れた土地にいと情報伝わりにくいですが、この情報紙により常盤道の開通の記事など大変参考になりました。
(群馬県 30代 女性)

この情報紙は項目ごとに見出しがありわかりやすく助かっています。これからも避難指示区域情報、復興状況を伝えてください。よろしくお願ひします。
(秋田県 40代 男性)

郵便はがきに「この記事はよかった!」(記事名や感想等、今号以外の記事でもOK)「今後、このような情報が知りたい!」といったご意見をお書きのうえ、住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記して下の宛先までお送りください。

960-8670

- ①住所・氏名・年齢・性別・電話番号
- ②印象に残った記事・感想
- ③取り上げてほしい情報
- ④その他ご意見



応募先 〒960-8670 福島県庁 避難者支援課「読者アンケート」係
締切 7月31日(金) *当日消印有効

*お預かりした個人情報はプレゼントの発送のみに使用いたします。*当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

募集

ご協力ください!

福島県に帰還された皆さまの声を募集しています。帰還を決めた理由や戻った感想などをぜひお寄せください。

この新聞の掲載内容に採用された方には素敵なプレゼントをお送りいたします。

応募先 〒960-8670 福島県庁 避難者支援課「わたしの声」係

「ふくしまの今が分かる新聞」バックナンバーはこちら

福島 今が分かる新聞



編集後記

澄んだ青空と若葉が心地よいこの季節、全国各地で高等学校総合体育大会の予選が始まろうとしています。結果がどうであれ、目標に向かって努力することは一生の財産になると思います。平成29年度には福島県でも高校総体が開催されますが、もしかしたら未来の金メダリストが出てくるかもと思うと、ワクワクしますね! がんばれ未来のアスリート!【さち】